

教材『言葉の多様性アクティビティ』について

1. 教材について

本教材は、JICA 東京が主催した 2010 年度教師海外研修に参加された秦さやか教員（新宿区立戸塚第三小学校）が、多様な背景を持つ人やその人たちの文化を対等にとらえるために、言語文化から入るのも大きな手立てになると考え、本教材を製作されました。製作者の多言語多文化共生への思いが詰まった教材です。

なお本教材の共有・教育現場等での活用については、製作者より承諾を得ております。

2. 教材の活用方法

本教材は、以下の二つで構成されています。

① 言葉の多様性について（パワーポイント）

クイズ等を通して、世界には多様な言葉があること、また消滅の危機にある言語があること、日本にも複数の言語があること等を知ること、言葉と文化の関心に意識を向けることができるものになっています。

② 多言語挨拶カード（ワード）

名称のとおり、色々な言葉の挨拶が書かれているカードになります。参加者は受け取ったカードに書かれた言葉の挨拶を声に出し、同じ言葉の挨拶をする仲間を見つけます。例えば英語、中国語、スペイン語の挨拶カードは 3 人以上に配り、沖縄、アイヌ、ムルット語は 1 名に配ります（参加者の人数に応じて調整可能です）。沖縄、アイヌ語等の仲間がいなかった言葉のカードを持った人に、仲間がいなかったことについて振り返りをしてもらいます。このカードゲームを通して、同じ言語を話す人がいない人の心境を考えることができます。

なお、言葉の種類や配布枚数は参加人数によって調整頂いて構いません。

※使用方法については、ワード文書の下方に記載がありますのでご参照ください。

皆さまの多文化共生・異文化理解の促進活動の機会にご活用ください。

以上

【共有データ】

- ① 言葉の多様性について（パワーポイント資料）
- ② 多言語挨拶カード